



多面的機能支払交付金 活動事例紹介

～ 夏のひまわり祭り ～



1.組織の概要

稲荷環境保全協議会は、伊予市で活動する組織です。平成19年度から交付金活動を開始しており、対象農用地の多くは田です。組織の活動としては、農地維持、資源向上（共同・長寿命化）のすべてに取り組んでおります。

2.稲荷ひまわり祭り

この活動組織では、本交付金の取組としてひまわりを育てており、一面に咲き誇るひまわりは、訪れる多くの見物客を魅了します。また、満開に併せて毎年開催される「ひまわり祭り」では、ひまわりを見るだけではなく、地域内外から参加した子供たちにひまわりの描写や塗り絵をしてもらったり、地域で収穫した枝豆を食べてもらったりして、農村地域の夏を感じてもらっています。なお、この祭りは、以下の項目に位置付けて活動をしており、案内（チラシ）には、本交付金の活動であることを記載しています。

- ⑳ 集落外住民や地域住民等との交流会
- ㉔ 植栽等の景観形成活動
- ㉕ 啓発・普及活動
- ㉖ 農村環境保全活動の幅広い展開（一部を抜粋しています。）

3.県としてできること

県では、多面的機能支払制度の更なる「事業制度・内容の周知」として、農林水産省作成のクリアファイル、子供向け事業パンフレット、多面的機能支払制度のPRマンガを配布しました。県内のたくさんの地域で「活動組織（農村集落）の活性化」が進むよう、この素晴らしい取組を、多くの活動組織に伝えたいと思います。

